

電信電話學會雜誌第一輯目次 (大正六年中)

○本 會 記 事

役 員 會	{ 第壹號..... 4頁 第肆號..... 255頁
事 務 報 告	{ 第壹號..... 1頁 第貳號..... 105頁 第參號..... 181頁 第肆號..... 255頁

○演 說

會長就任演說	工學博士 利根川 守三郎.....	第壹號.....	5頁
電話回線中に挿入せらる器具、機械に基因する				
通話損に就て	{ 會員工學士 小 川 一 清 會 員 荒 川 利 雄	第三號..... 183頁
現時の無線電信電話	會 員 佐 伯 美 津 留	第四號..... 259頁

○寄 書

電信方式の將來	會員工學士 浦 田 周 次 郎	第壹號.....	21頁
現時に於ける紙の需要と電氣用絶緣紙とに就て					
		會 員 齊 藤 正 平	第壹號.....	24頁
オーディオンに就て	會 員 北 村 政 次 郎	第壹號.....	38頁
電氣製作工業の獨立に就て					
		會 員 工學博士 烏 潟 右 一	第貳號.....	107頁
漢口の新電話局	會 員 石 川 弘 三	第貳號.....	110頁
市内電話架空線路用百磅鐵線に就て					
		會 員 南 崎 莊 吾	第貳號.....	118頁
電話用捲線類のイムピーダンス測定法に就て					
		會 員 荒 川 利 雄	第貳號.....	130頁

交換手定率の増加は交換費を増加するや

會員 上山房楠……第貳號… 141頁

磁石發電機用磁鋼の磁氣試験成績

會員 堀江貞治郎……第三號… 225頁

戦前戦後に於ける電信電話用裸線類に就て

會員 内藤助治……第三號… 233頁

ダニエル及動電池廢液回収に就て

會員 湊谷祝三郎……第三號… 238頁

交直流式電信法實驗に就て

會員 伏野義雄……第四號… 301頁

真空球發振法に就て……會員 北村政次郎……第四號… 323頁

米國に於ける無線電信事業

會員 丸毛登……第四號… 340頁

再び道田氏の「電話度數制に就て」の管見

會員 上山房楠……第四號… 353頁

上山氏再度の注意に對して

會員工學士 道田貞治……第四號… 354頁

○拔 萃

擬似ケーブルを使用せずして海底線二重電信を行ふ

方式(ルイスコーヘン)……第壹號……72頁

アマリントン強力無線電信所の設備……第壹號……75頁

充電用タンガム整流器……第壹號……87頁

護謨工業……第壹號……88頁

海底線通信に無線電信方式の利用(オースチン氏

及コーヘン氏)……第貳號… 151頁

二重電信の平衡に就て……第貳號… 152頁

無線電信局設計の大要に就て	第貳號	165頁
新電話受話装置	第貳號	174頁
電信ケーブルの遮蔽心線及經濟的ケーブルの設計 (チェットウッド氏)	第三號	241頁
インダクタンスの測定に使用する新交流ブリツチ法	第三號	243頁
市外電話用カルキュラグラフの改良	第三號	245頁
長距離電信回線	第三號	246頁
海底線多重通信方式(スクアイアム)	第四號	356頁
オスシレーティングオートオンに據る受波空中線 電流に就て	第四號	358頁
ヴァルカナイズド・ファイバーに就て	第四號	360頁

○ 雜 錄

電信試験技術官並に修繕職工召集	第壹號	90頁
東京小石川電話分局開始	第壹號	95頁
函樽間市外電話の開通	第壹號	99頁
各地の大火と線路被害	第壹號	100頁
大阪の爆發と電話線路の被害	第壹號	101頁
真空球に依る無線電話	第壹號	102頁
特別長距離加入者用送話器	第壹號	103頁
米國無線電信管理	第壹號	103頁
白金の代用物	第壹號	103頁
エヂソン氏の通話記録機	第貳號	175頁
磁石式自働電話機用送話器使用標準	第貳號	176頁
電話用各種磁鋼に関する調査	第貳號	177頁
種々の銹止めを施したる受話器振動板の防銹力に就て	第貳號	178頁
長崎淡水第二海底線の布設	第貳號	178頁

東京長崎間電信線の増設	第貳號	179頁
磁石式と共電式との電話一回線又は一電話機平均		
障害度數比較	第貳號	179頁
名古屋及長崎局の電信用二次電池	第貳號	180頁
電話加入者の構外移轉狀況	第參號	247頁
護謨線接續部の硫化に就て	第參號	251頁
電信用各種磁鋼に関する調査	第參號	254頁
青森局電信用二次電池	第參號	254頁
暴風雨と電信電話の被害	第四號	364頁
本邦測候所創立以來風速四十米以上の暴風年月		
及遞信局別度數と最大風速表	第四號	367頁
元電信電話研究會々長工學博士淺野應輔君略傳	第壹號	69頁